

市の民の声



川辺町 平山
中礼 豊子

一商工会員として

南九州市が誕生してまもなく2年が経とうとしています。商売がら合併に伴い色々な仕事をさせて頂きました。私の家は、印鑑・ゴム印・印刷の仕事をしています。南九州市からも色々な見積りを頂きましたが、実際は厳しいものでした。

印鑑などについては、南薩4市で南薩印章業組合を作り、品質・技術向上を図るための研修などを行っています。食でも地産地消、安全で安心な食物が求められています。

ますが、印材に関しても同じです。今は、輸入材や柔らかい材料が出回り、安い価格で卸されていますが、南九州市には全国的に有名な『薩摩柘』が頼みで作られています。南九州市の公印はその『薩摩柘』で彫られていると信じています。

先日の南日本新聞に「かごしま繁盛塾」が鹿児島市の主催で始まったという記事がありました。商売に役立つ、お客様のニーズに合わせた具体的な講座の様子に、南九州市でもこのような講座があればと思いました。現在、商工会でも合併協議会が発足し、来年4月の合併を目指し協議がなされています。一商工会員として、商店街が活性化するように十分に協議し、3町商工会がひとつになり、ますます発展することを切望します。



知覧町 松山
松山 常盛

池田湖の水に感謝

南薩土地改良区は、畑作営農の基盤づくりに創設以来35年を経過しております。薩摩半島南部は緑豊かな食料基地としての役割が大きく農作物の生産量・生産額とも年々上昇しております。

しかしながら、相場変動の影響は大きく、また配水施設の老朽化が進んでおり漏水事故が多発傾向にあります。

池田湖の水は、周辺地域の「命の水」であり、畑地かんがい用水として、受益者面積5850

ヘクタールを潤しておりますが、年によつては、異常気象で貯水量が心配されます。

土地改良区は、昨年度から後継者対策として、関係地区の小学3、4年生を対象に池田湖の水利用に関する出前授業を行うなど更に充実した事業に取り組んでおります。

賊課金の未納、滞納対策も地区行政機関と連携して、協議会を開催し、未納者への納入啓発を進めるとともに、受益者自身の自覚高揚を期待しております。

景勝地としての池田湖の水利用に感謝しつつ、将来に向かって豊かな郷土づくりに邁進したいものです。



“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**11月30日**開会予定

手続き簡単!! 本館2階で住所・氏名などを書くだけ

編集後記

朝夕めっきり冷え込み深みゆく秋の訪れを感じる季節となりました。

茶農家にとりましては春先の低温障害で茶の品質に影響を与え、生産量の減少や低価格での推移となり厳しい現状でした。そのような中、全国茶品評会普通煎茶30キロ

の部で今年も産地賞、農林水産大臣賞を受賞されたことは、茶農家の努力の賜物と大変うれしく思います。

今後南九州市のお茶を全国に広め、さらなる飛躍を願っています。

(峯苦 勝範)

広報編集委員会より

私たち議会広報編集委員会は、南九州市議会の発足に伴い、6人の委員で編集・発行作業を行ってきました。

2年間の役目も今回をもって終わりとなり、12月議会報(9号)からは、新しい委員での発行となります。

今後とも市民の皆様方の記事投稿や、御愛読をよろしく願います。

▼広報編集委員会

委員長 森田 隆志
副委員長 峯苦 勝範
委員 竹迫 毅
菊永 忠行
田畑浩一郎
山下つきみ